

# 平成21年10月より 年金から町県民税の 引き落としが始まります。 〈特別徴収制度〉

納税方法を変更するものであり、  
新たな税負担が生じるものではありません

現在、年金を受給されており町県民税を納税する方には、年4回金融機関や役場で納めていただいています。この制度の導入により、年金を支給する年金保険者が町県民税を年金から引き落とし、町へ直接納入することになるため、納税の手間が省かれるとともに、事務の効率化が図られるものと見込まれます。

**対象者** 4月1日現在65歳以上の年金受給者のうち町県民税の納税義務がある方。

※介護保険料が年金から引き落としされていない方や、引き落とされる町県民税額が年金額を越える方などは対象になりません。

**引き落としの  
対象となる年金は…**

老齢基礎年金または、昭和60年以前の制度による老齢年金、退職年金などをいいます。障害年金や遺族年金などの非課税の年金からは引き落としはされません。

**引き落としされる  
町県民税額は…**

引き落とされるのは、年金所得の金額から計算した町県民税額のみです。したがって年金所得以外に、給与や事業所得のある方は、年金からの引き落としとは別に給料から天引き、または納付書で納めていただくこととなります。

**引き落としが  
中止となる場合は…**

引き落とし開始後、町外へ転出、税額の変更、年金の支給停止などが発生した場合などは、引き落としが中止となり、納付書により金融機関や役場へ納めていただくこととなります。

**引き落としは、平成21年10月支給分の年金から始まります。**

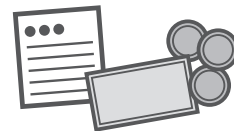
(例)年金所得のみで、町県民税が6万円の場合

## これまでの納め方

納付方法	納付書で納める				
	納付月	6月	8月	10月	12月
税額	1万5千円	1万5千円	1万5千円	1万5千円	1万5千円
算出方法	1/4	1/4	1/4	1/4	1/4

年税額の1/4ずつ納付書で納めていただいていた。

導入初年度のため、平成21年度は税額の半分を6月・8月に、これまでどおり納付書で納めていただき、残りを10月・12月・2月の年金から直接引き落としになります。



## 平成21年度の納め方

納付方法	納付書で納める		年金から引き落とし		
	納付月	6月	8月	10月	12月
税額	1万5千円	1万5千円	1万円	1万円	1万円
算出方法	1/4	1/4	1/6	1/6	1/6

6月と8月は年税額の1/4ずつをこれまでどおり納付書で納めていただきます。10月・12月・2月は年税額の1/6ずつを年金から引き落とします。

## 平成22年度の納め方

納付方法	年金から引き落とし					
	納付月	4月	6月	8月	10月	12月
税額	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円	1万円
算出方法	前年度2月と同じ額			22年度の年税額の残り1/3ずつ		

4月・6月・8月は、前年度の2月の税額と同額を引き落とします。10月・12月・2月は年税額から、4月・6月・8月の税額を差し引いた残りの税額を引き落とします。

問い合わせ先 税務課 住民税係 内線42・43

# 野生獣から農作物を守るために、 町の補助制度をご利用ください！

イノシシ、シカ、サルによる農作物被害は年々増加し、御代田町でも至るところで獣による食害、踏み荒しなどの被害が発生し、農家にとって深刻な悩みとなっています。

特に繁殖力の高いイノシシ、シカは、捕獲により減少させることは難しいのが現状です。

大切な農作物を獣から守り、被害を最小限に食い止めるよう防護柵や電気柵などの防除対策を実施していただくようお願いします。

町では、防護施設設置の資材費に対して1/3、上限10万円の補助制度を設けています。詳しい内容はお問い合わせください。

## 防護柵の特徴

防護柵	資材の特徴	囲い方などのポイント	効果
トタン板	幅80cmのトタンが効果的。	おもにイノシシに対して有効。隙間をつくらないように設置。	イノシシ ○ シカ × サル ×
金網フェンス	野生獣に押し広げられにくいように10cm以下の目合いがよい。	対象獣に応じた柵の高さ、設置面の処理が必要。	イノシシ ◎ シカ ◎ サル ×
ワイヤーメッシュ	イノシシ用は、径5mm以上の鉄棒で、目合いは10cm以下のメッシュがよい。	おもにイノシシに用いる。上部を折り返すと侵入防止効果が高い。シカ用には2mの高さが必要。	イノシシ ◎ シカ ○ サル ×
ネット	イノシシ、シカは金属線を編みこんだ獣害専用ネット(目合いは10cm以下)が効果的。サルはポリエチレン製・テグス製の網(目合い4~5cm程度)を使用。	侵入方向にネットを垂らして侵入を防ぐ。	イノシシ ○ シカ ○ サル ○
電気柵(電線型)	アルミ線、針金あるいは金属線を編みこんだロープなどを使用。	電圧のチェック、漏電防止のため草刈りが重要。サルを防ぐには侵入に時間がかかるようネットなど他の防護柵を組み合わせる。	イノシシ ○ シカ ◎ サル ○
電気柵(ネット型)	通電性をもったネットを使用。	おもにサルに対して用いる。管理は同上。	イノシシ ◎ シカ ◎ サル ◎

効果:◎効果が高い、○効果がある、×効果なし

## 野生獣の主な特徴

### イノシシ

防護柵などの障害物に対しては、警戒しながら近づき安全を確認する。20cm程度の隙間があれば潜り抜けられる。鼻は鋭い嗅覚をもつ以外に土を掘り、障害物を動かすときにも使われる。鼻で50kgのものを持上げることができる。鼻先は敏感で電気刺激などには弱い。

### サル

普通、数十頭~百頭程度の群で生活し、百頭前後になると分裂する可能性が高くなる。また、被害軽減のための捕獲を行った場合にも群の分裂が起きることがある。サルは危険なときには高い所に逃げる習性があるが、人馴れが進むと人家や農地にも出没するようになる。

### シカ

ほとんど助走せず1.5mの障害物を飛び越える能力がある。一方、防護柵などの障害物では隙間や下を潜ることが多い。

問い合わせ先 産業経済課 農政係 内線64